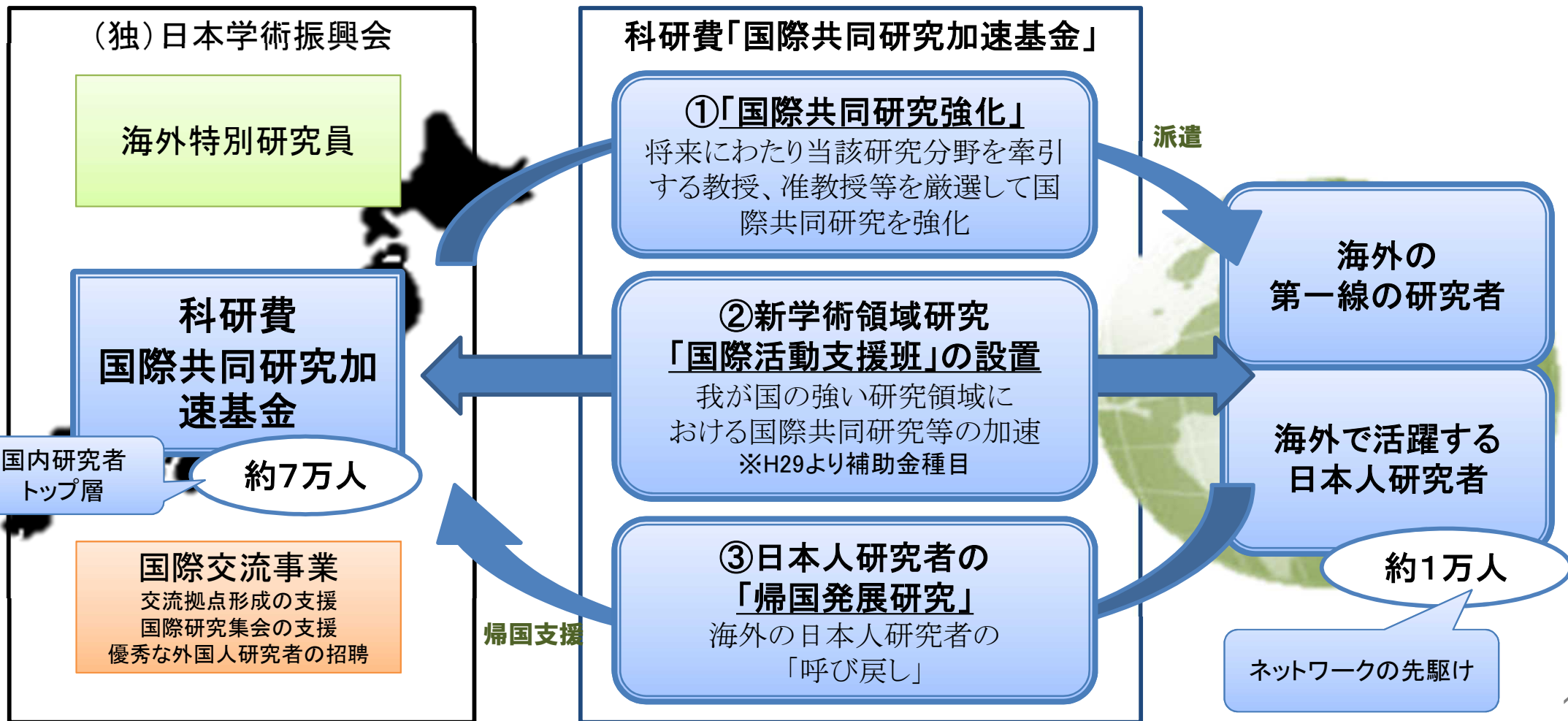


国際共同研究加速基金の概要(趣旨・目的)

資料5-1

- 現在、我が国は、少子高齢化や人口減少等の課題を抱えつつ、エネルギー問題等のグローバルな課題に直面。学術研究が、「挑戦性、総合性、融合性、国際性」といった現代的要請に着目しつつ、学術研究の本来的役割を最大限発揮することが求められている(平成27年1月学術分科会報告)。
- 一方、「近年、世界では、国際頭脳循環の活発化などにより国際的な研究ネットワークの構築が進展しているが、我が国はそうした大きな流れから取り残されている」との懸念が示され(平成25年8月29日学術分科会研究費部会)、我が国の研究活動を活性化させるための方策が求められている。



国際共同研究加速基金の公募等①

「国際共同研究強化」

※研究者の海外派遣

趣旨：科研費採択者が現在実施している研究計画について、国際共同研究を行うことでその研究計画を格段に発展させ、優れた研究成果をあげることを目的とする。

その結果、国際的に活躍できる、独立した研究者の養成にも資することを旨とする。

対象：下記の応募資格を満たす対象者が一人で一定期間海外の大学や研究機関において海外共同研究者と共同で行う研究計画
※留学等単なる海外派遣を推進するものではない

応募資格：「基盤研究（海外学術調査を除く）」又は「若手研究」に採択されている研究代表者のうち36歳以上45歳以下の者。ただし、博士の学位を取得後5年以上経過した者は36歳未満でも可。

応募総額：1,200万円以下
（渡航費・滞在費、研究費、代替要員確保のための経費）を計上）
※応募額を最大限尊重した配分

渡航期間：6ヶ月～1年を原則とするが、研究期間の範囲内において1年を超えて渡航する計画も可

「国際活動支援班」

※新学術領域研究に設置

対象：革新的・創造的な学術研究の発展が期待される研究領域

応募総額：領域の応募金額の範囲内で、かつ、単年度当たり1,500万円以下

研究期間：5年間

※国際的な動向分析、支援活動（国際共同研究の推進や海外ネットワークの形成（国際的に評価の高い海外研究者の招聘やポストドクターの相互派遣等））を行う組織

※H29公募から補助金に変更

「帰国発展研究」

※海外日本人研究者の呼び戻し

趣旨：海外の研究機関等において、優れた研究実績を重ねた「独立した研究者」が、日本に帰国後すぐに研究を開始できるよう研究費を支援する。

当該研究者が日本を主たる拠点として研究を実施することにより、当該研究者を通じた外国人研究者との連携等による日本の研究活動の活性化に資するとともに、帰国直後の研究費支援があることで若手研究者の海外挑戦の後押しにつながることも期待する。

対象：日本国外の研究機関に所属する日本人研究者が、帰国後に日本国内の研究機関に所属し日本を主たる拠点として一人又は複数の研究者で行う研究計画

応募資格：応募時点において、
①日本国外の研究機関に教授、准教授又はそれに準ずる身分（ポストドクターを除く）を有し、所属している者
②日本国外に居住する日本国籍を有する者
③科研費応募資格を有していない者

応募総額：5,000万円以下

研究期間：3年以内

国際共同研究加速基金の公募等②（H28実績）

「国際共同研究強化」

※研究者の海外派遣

応募件数 629件
(採択課題数 212件)

審査・交付等スケジュール

平成28年7月1日～
平成28年9月5日 公募

平成28年12月～
平成29年1月 審査

※日本学術振興会国際科研費委員会で審査

平成29年1月27日 交付内定

★渡航先外国機関及び所属研究機関と調整終了後

平成29年1月～
平成30年3月31日まで
交付申請（随時）

交付申請後 交付決定（随時）

「国際活動支援班」

※新学術領域研究に設置

応募領域数 153領域

審査・交付等スケジュール

平成28年9月1日～
平成28年11月7日 公募

平成28年12月～
平成29年6月 審査

※科学研究費補助金審査部会（文部科学省）で審査

平成29年6月下旬 交付内定

平成29年7月下旬 交付決定

「帰国発展研究」

※海外日本人研究者の呼び戻し

応募件数 35件
(採択課題数 12件)

審査・交付等スケジュール

平成28年9月1日～
平成28年11月7日 公募

平成28年12月～
平成29年3月頃 審査

※日本学術振興会科学研究費委員会で審査

平成29年3月23日 交付内定

★日本国内の研究機関に所属以降

平成29年3月～
平成30年4月30日まで
交付申請（随時）

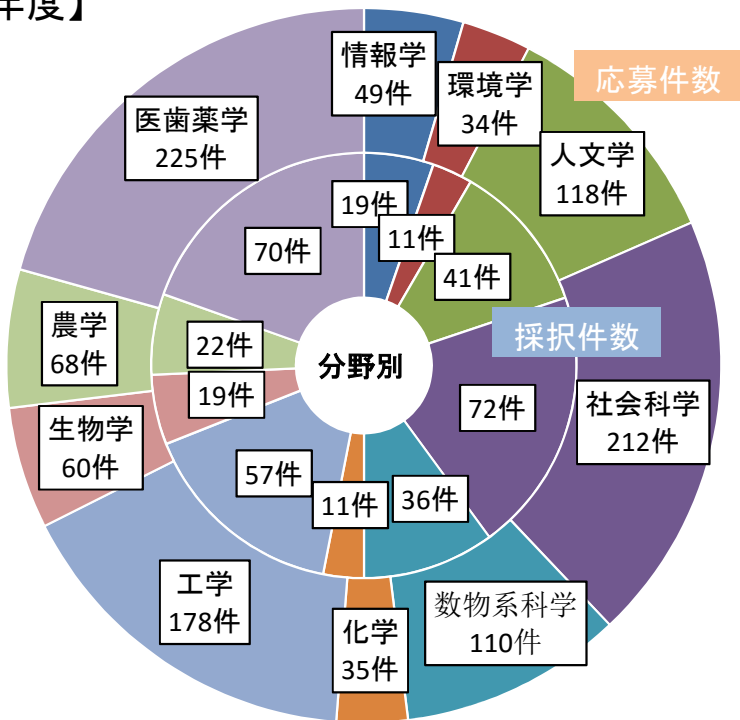
交付申請後 交付決定（随時）

「国際共同研究強化」応募・採択状況①

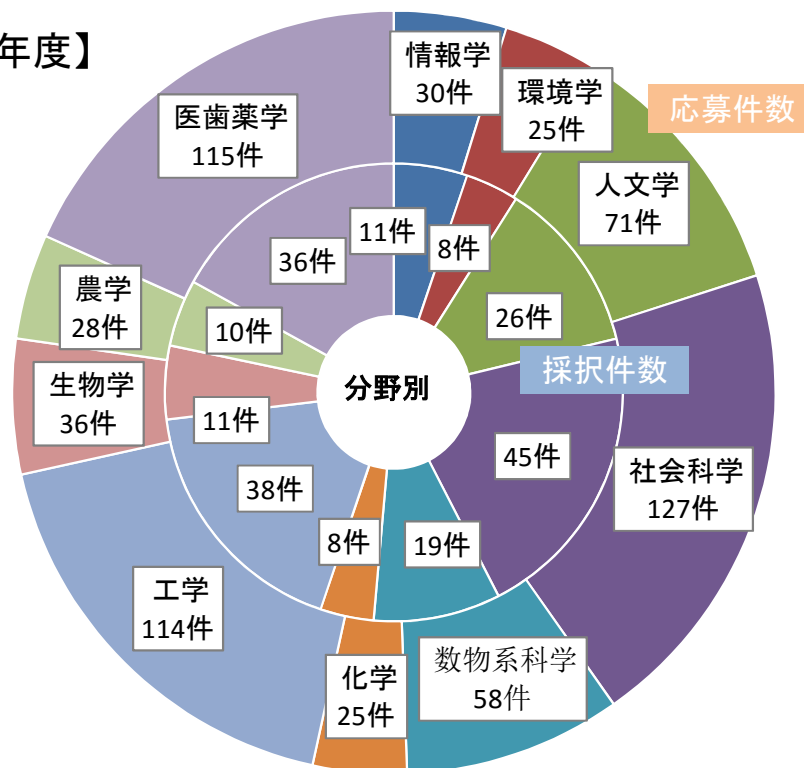
	応募件数	採択件数	採択率	備考
平成27年度	1,089件	358件	32.9%	うち育休留保2件、辞退7件
平成28年度	629件	212件	33.7%	

▶分野別

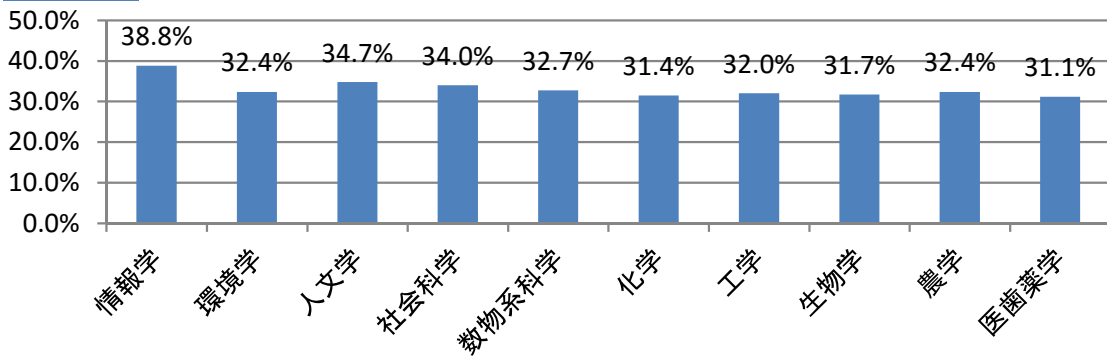
【平成27年度】



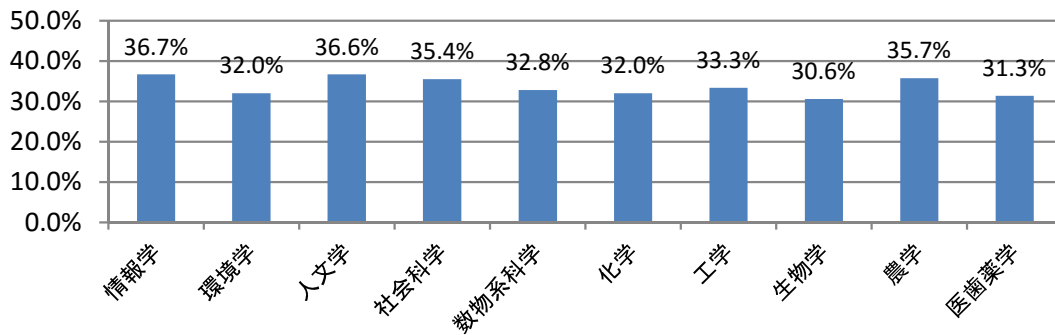
【平成28年度】



採択率



採択率

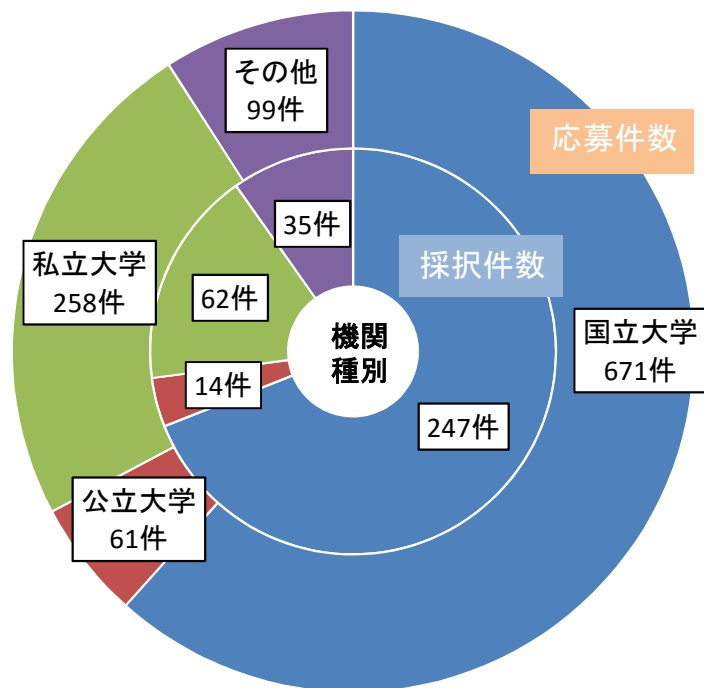


「国際共同研究強化」応募・採択状況②

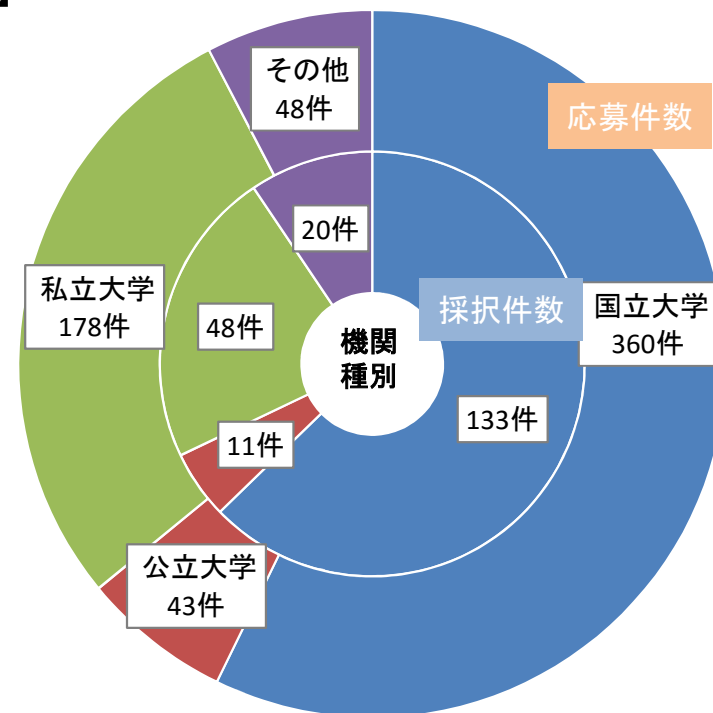
▶機関種別

国立大学の応募・採択件数が最も多く約6～7割を占め、採択率も比較的高い。

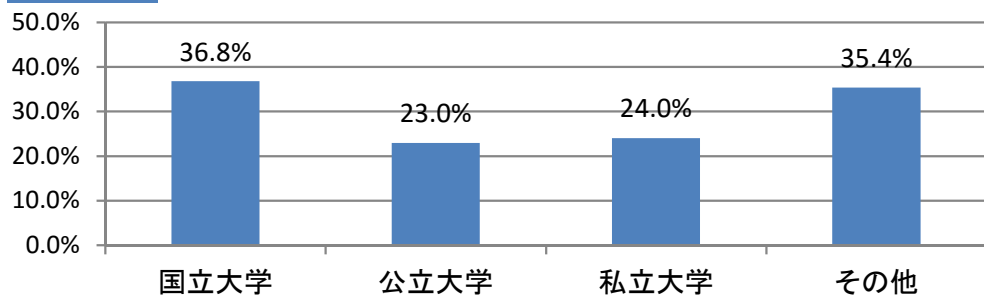
【平成27年度】



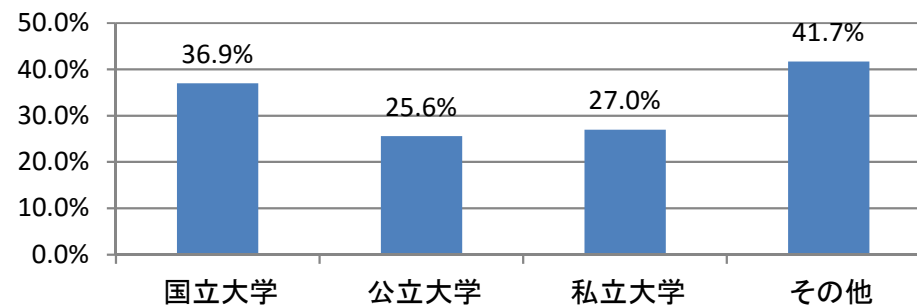
【平成28年度】



採択率



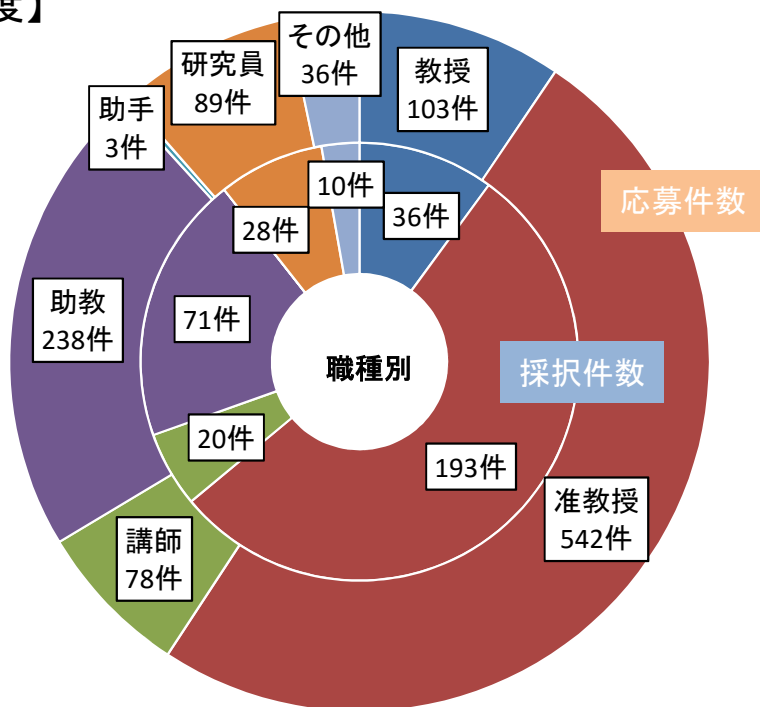
採択率



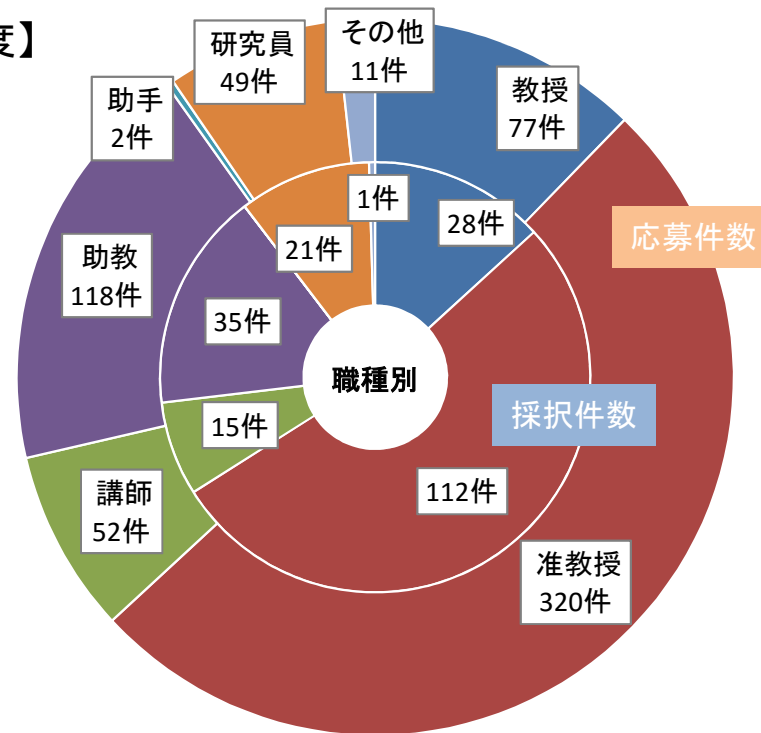
「国際共同研究強化」応募・採択状況③

▶ 職種別 准教授の応募・採択件数が最も多く約5割を占め、採択率も比較的高い。

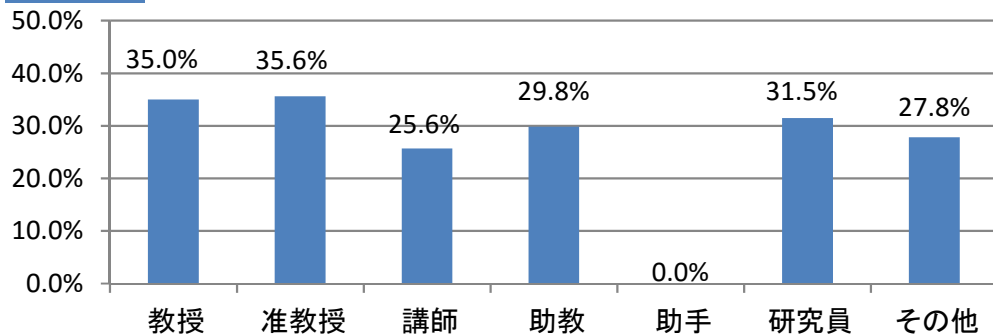
【平成27年度】



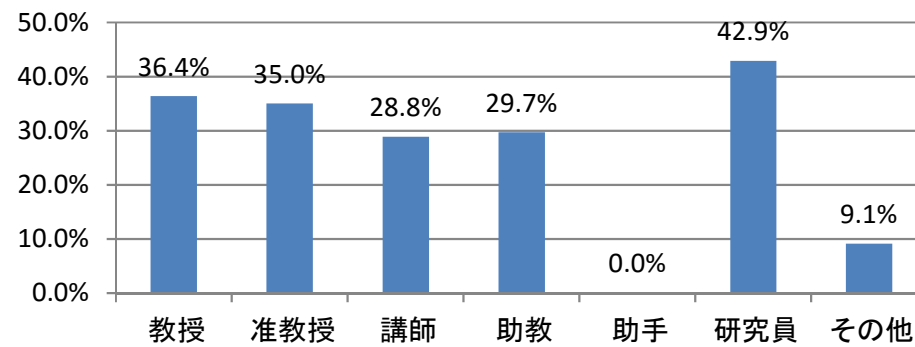
【平成28年度】



採択率



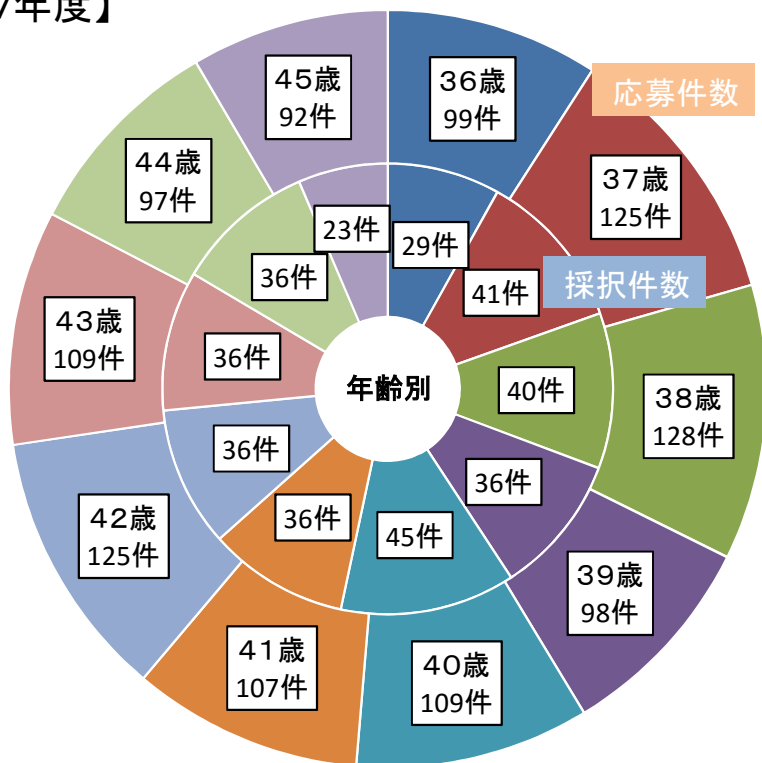
採択率



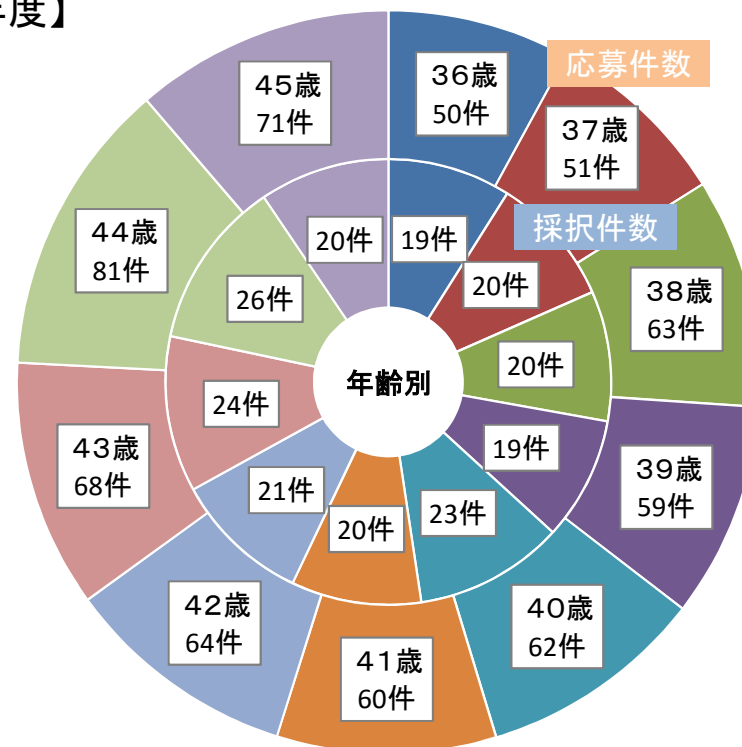
「国際共同研究強化」応募・採択状況

▶年齢別 どの年齢層からも万遍なく応募されているが、採択率は年齢層によって異なる。

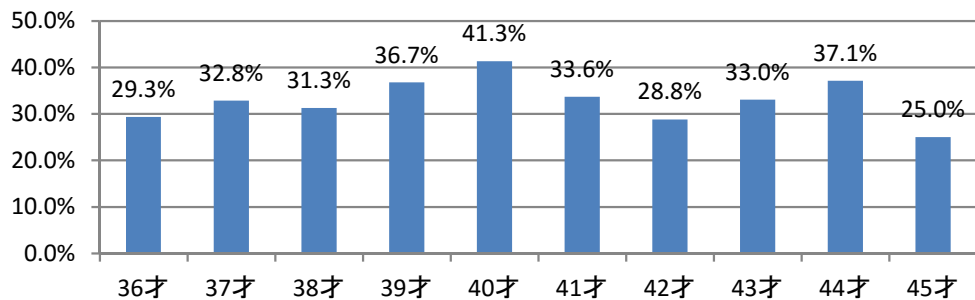
【平成27年度】



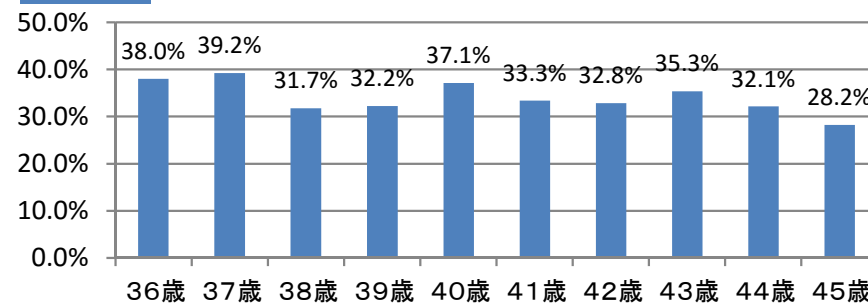
【平成28年度】



採択率



採択率

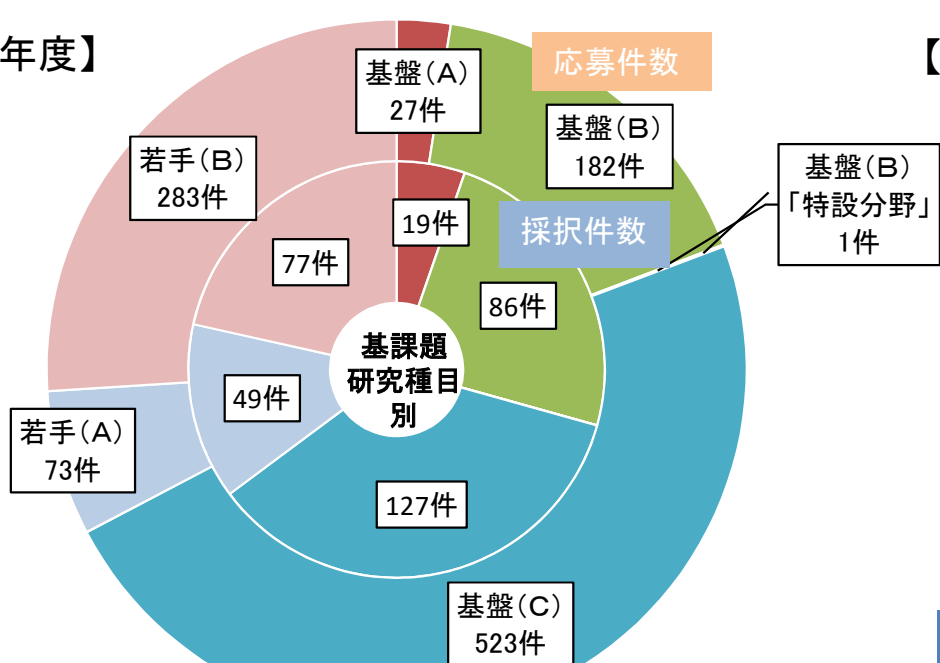


「国際共同研究強化」応募・採択状況④

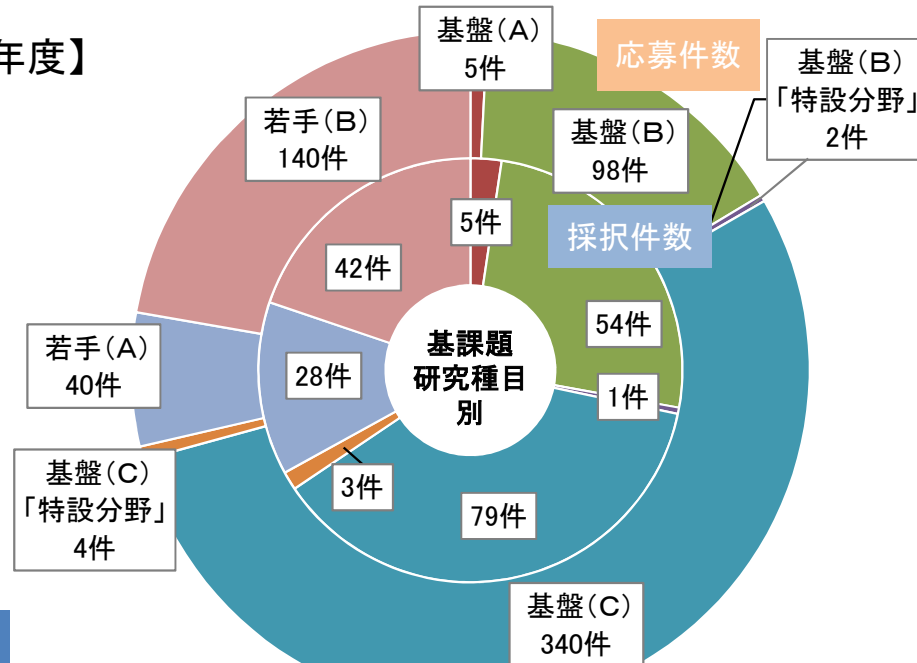
▶ 基課題別

応募・採択件数は基盤Cや若手Bが多いが、採択率は基盤B以上の規模の種目が高い。

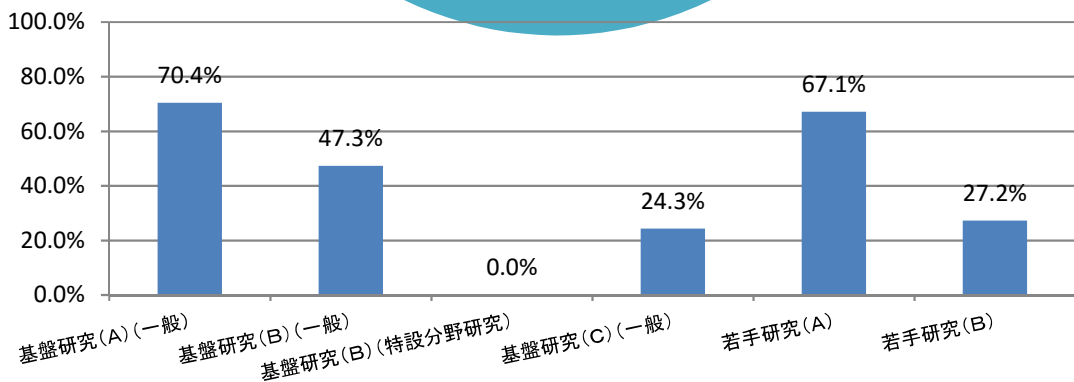
【平成27年度】



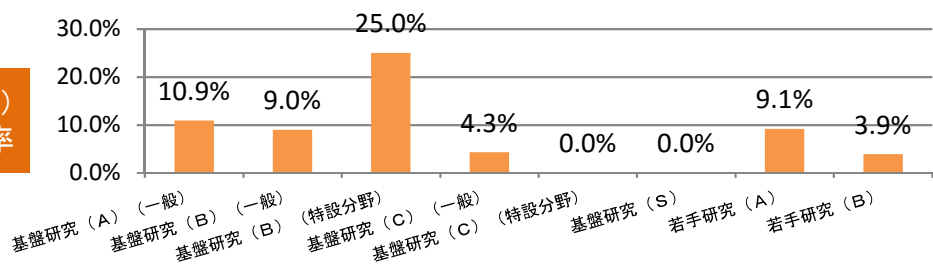
【平成28年度】



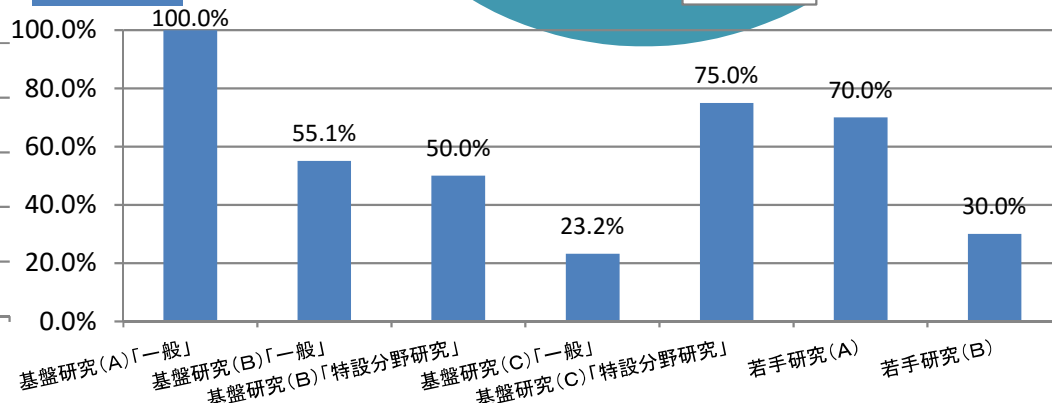
採択率



(参考) 応募率



採択率



(参考) 応募率

